

ん……。
ふあ、あああ……。
ん……ねむ。
ん?
ああ? 何?
ってか誰だっけ、お前。
急に馴れ馴れしく話しかけてくんnyaよ。
誰だかよく知らねーけど。
いやマジ何なん? 怖っ。このクラスの奴?
は? いやこれ見てって、普通に意味分かんねーけど。
別に興味ないし。
悪いけど私そういうのいいから、やるなら他あたってくれね?
……いや、しつこいし。
んな意味分かんない模様、マジで心の底からどうでもいいっていうか、普通にうざいから、
ほんと話しかけてこない……で。
んつ……え? 何、このお……あ……う、あ……。

ん……。
あれ。何だっけ。
つつ……頭痛った……。何だよこれ。
ん……うん?
あれ、どしたん、そこの子供。
何でこんなとこいんの。
いやお前だよ、お前。
ガキがこんなとこうろついてちゃだめじゃんか。
ここ、学校だぞ?
そ。お姉ちゃん達が、勉強するところ。
何、迷子か? それとも誰かの……弟とかか?
えっ、ちょ。何? えー、なんで泣くし。なんもやってないじゃんか。
あー、ほらほら。
ん、よしよーし。怖くないってば。
ちょ、マジ泣きやみって。
お姉ちゃん別に何もいじめてないだろ? な?
ほら。いっぺん落ち着いて深呼吸してみ?
はい、吸ってー……吐いてー……。
ん……ど? 落ち着いた?
そ。よしよし、良かったなー。
ん……んで、どした。
急に泣き出すから、びっくりしたわ。
お腹空いたって、はあああ。なに、そんな理由かよ?
もう、心配さすなし。
つてもまあ、お前くらいの歳だと結構重要か。
お腹空いてんのって、結構心細い感じになるしな。
ん……ちょっと待ってな。
えっと、何か菓子とかは……ん、今はないか。
あー、クソ……どうしたもんかな。

ん？

いやなにどした？ そんなくっついてきても、なんもないってば。

ん……あ？ いやママじゃねーし。

お姉ちゃんお前とは初対面だし、流石にその位は分かるだろ？

ん、いや、ちょ、離れりって……もう。

んー、まあ、でも……このままほっとく、って訳にもいかんしなあ。

んー……。

あー、そうだ、おい。

その、あー……なんだ。

もしその、お腹減ってんの、我慢できないんだったらさ、あー……その、良かったら吸うか？ お姉ちゃんのおっぱい。

あ、いやまあ、嫌なら別に、強制とかする気は全然ないんだけどさ。

お姉ちゃん他に、食べれそうなモン持つてないし。

今すぐお腹満たせるモンつーと、おっぱい、くらいしかねーかなって。

というわけでまあ、そっちが良ければーって感じなんだけども……どう？

あ、マジ。いいの。いいのか……。

なんていうかお前、物怖じしないのな。

こんなよく知らないお姉ちゃんのおっぱいでも、吸いたいもんか？

……そうかー。

ん、今はまあいいけど、もうちょっと警戒心とか持った方がいいべ？

世の中、たまに変なやつとか居るからさ。

お姉ちゃんも今朝、なんか気持ちわりーのに絡まれたしさ……って、あれ。

そっからどうしたんだっけ……私。

……いっつ。

ん……まあいいや。

とにかく、知らん人には気い付けれってこと。

……っても、まあまだよく分かんないか。

はああ。

んじゃ、お姉ちゃんおっぱいあげるから……えーと、そうだな……。

ん、ほらここ。

膝枕してやるから、太ももんとこに頭、預けてみ？

ん……ほら。

お姉ちゃんちゃんと受け止めるから、このまま寝っ転がっちゃいな？

ん……はい、よーし。

ん……。

どう、苦しくないか？ 頭の位置とか。

そかそか。

おし、そんじゃあ私も服脱いでくけど……あー……そんなにガン見されると、流石にお姉ちゃんも恥ずかしんだけど。

ん……まあ、いいけどさ。

おっぱいあげるくらい、別に恥ずかしいことじゃないしな。

ん……しょ、っと。

ん……はーい、準備できたぞー。

は？ おっぱい綺麗って……ん、そういうことは一々言わんでよろしい。

全く……。

んじゃあ早速だけど、飲んでくか？

お姉ちゃんの、母乳。

ん……んじゃあ口元までおっぱい、持っていくから。

ん……ほれ、このまま口付けて、吸ってみな？

あっ、あと、ちゃんと優しくすんだぞ？

おっぱいって、結構敏感なところだから、あんまりキツく吸ったりするとダメだ。

痛くなったりするからな？

ん、分かったら……いいぞ？ はい、どうぞ。

んつ……。

どう？ ちゃんと出てるか、おっぱい？

そかそか。

ま、私胸でかい方だから沢山出るだろうし、好きなだけ飲んじゃいなー？

んんっ、ほらもっと、舌も使って吸ってみ？

んあっ……ん、そう、その方がいっぱい出るっしょ？

んつ、遠慮しないでいいって。

お姉ちゃんもさ、んんっ……吸って貰った方が胸、張ってるの楽になるし。

それに……んつ、お前位の子がお腹空かせてたらやっぱ、んっ、おっぱい、飲ませてあげるのが当然だしな。

んつ、ふう……人として、当たり前のこと……じゃ……。

……ん、あ……えう……。

ん……。

……！？ ああ！？

は、ちょっ……えっ、お前なにやってんの……！？

つーかお前……さっきの……。

んつ、ちょっ……やめ、放せコラ！ んんっ……吸うな……っ！ 吸うなって！

くっ……んんっ、私の身体、どうなって……。

ううっ！？

う……。

……ん？ ああ、すまんすまん。

ちょいボーっとしてたわ。疲れてんのかな、私。

あん？ 何笑ってんだよ？

変な奴だなー。

ん……っと、おっぱいだったな。

いいよ、そのまま満足するまで飲んでな？

まだまだいっぱい出るからさ。

ふふっ……んつ。

@@@@@@吐息15秒@@@@@@

ん……どう？ 美味いか、おっぱい？

ふーん。

んつ……私は自分の飲んだことないからよく分からんけど……ま、気に入ってくれてんなら何より。

んつ……あ、んん？ ああ、お姉ちゃんも嬉しいぞ。

それだけ夢中で吸いついてくれんなら、やっぱ……な。悪い気はしないっつーか。

ん……じゃ、そろそろ反対側も……んふつ、飲んでくか？

んふ、満遍なく飲まんと、ん、お姉ちゃんも片側だけ張ったままになるし。
ん……ほら、こっちも優しくな?
んんっ……そう。
上手にできてんぞー。ふふつ……んつ。
舌絡めながら乳首、あっ……ちゅぱちゅぱ吸いこんで……。
んっ、結構勢いあんのに、こぼさず飲めてるし。
んっ、ふ……偉いじゃんか。なあ?
ふふふつ……んあつ。
ん……あ? んんつ、声、聞いてんじやねーよ。
仕方ないだろ? 胸、敏感なんだよ姉ちゃん。
んっ、く……は、ん……そうやっていい感じの力加減で吸われてると……んっ、どうして
も、な。
……んひや、うつ……! こ、こら。
悪戯すんなって。
んんっ、あ、そんな……指で摘ままなくともちゃんとおっぱい、ん、出てるだろ?
んっ……なっ、それでも足りないんかよ。
ん……しようがねーな。
んっ、じゃあ別に摘んでもいいけど、んんっ、ただ、優しくだぞ? 優しくな。
んあ……ん、ふ……うう。ああ、その位なら……ん、まあ……いい。
@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@
んっ……ってか、案外よく飲むのなー、お前。
ふ……ん、そろそろお腹、いっぱいになつたりしないんか?
ん……まだ全然って、マジか。足りっかな……。
あ……ん、ああいや、まあ多分大丈夫だから安心しとけ。
ふ……。
ん……ていうかお前、さっきから何かもじもじしてけど、どうかしたか?
飲みすぎて、お腹下したりしてねーよな?
ん? ああ、なんだ。
ちんちん、おっきくなっちゃったのか。
はは、見れば分かるって。そんだけ股間、盛り上がってたらな。
……別に恥ずかしがることじゃねーだろ? 男なんだし。
んっ……こうやって、おっぱい触ってたらまあ、そういうこともあるって。
あんまり気にすんなよ?
ははっ……ってもまあ、このままほっとくのも良くないよな。
一回こうなると、中々収まりつかねーっぽいし。
お前もこのままだと苦しいもんな?
やっぱそうだよなー。
ん……あー……じゃあさ。
折角だしお姉ちゃんがちんちん、しごいて楽にしてやろっか?
いやまあ、その、こうなったの……私がおっぱい吸わしてやったのが原因でもある訳だし。
そのせいでお前が辛い思いするのはまあ、ちょっと気分が悪いじゃん?
ん……だから、あんまり上手く出来るか分かんねーけど、私で良かったら出して、楽にして
やってもいいぞ?
その……精液、一回出せばとりあえずは、収まるだろ?
ん……そ、そうか。
分かった。んじゃ、いっちょお姉ちゃんが何とかしてやるからな。

へへ、心配すんなよ。
お姉ちゃんに任せとけって。
ん、じゃあとりあえずまずは、服、脱がしてやんねーとな。
ほれ、んじゃあズボン脱がすからな？
あん？
だからさっきも言っただろ、別に恥ずかしがることじゃねーって。
ちんちん服ん中で窮屈そうだし、お前もこのままやって下、汚れる方が困るだろ？
な、だから……ちょっとじっとしてろよー。
ん……しょ、ん……っと。
ん……ほら出た。
と、うわー。
ほんとにビンビンになってんなお前の。
びくびくって脈打って、それにすっげえ固いし。
はは、安心しろって。
ちゃんとお姉ちゃんが、元に戻してやるからなー。
ん……よし、とりあえずじゃあ、このまま扱いていいか？
それともなんか、どういう風がいいとかあるんか？
ある程度ならお姉ちゃん聞いてやるから、何でも言ってみろよ？
……あん？
このままおっぱい吸いながら扱いて欲しいんかよ。
なんつか、贅沢な奴だなー、お前。
ま、まだ腹も減ってんだし、その方が興奮する分早く出せるか。
ふふ、いいぞ。
んじゃあちんちんの方はお姉ちゃんが気持ちよくしていってやるから、お前はおっぱい、そのまま飲んでな？
ん……ふ、そうそう。
んん……それじゃあお姉ちゃんの方もそろそろ……んっ、扱いていくな？
んふ、痛くならないように先に、全体に唾垂らして……っと。
……ん、別に気にしないよな、唾でも？
ん……それじゃあ垂らすぞ？
ん……んん……ん、んー……。
ん……よし、こんなもんか。
んっ……それじゃあ手、動かしていくぞ？
とりあえずゆっくり目に、全体を……。
んっ……ふ、どうだ？
まずはちんちんに、満遍なく唾液、塗っていく感じでいくからな？
あっ……ふ。痛かったら言えよ？
んっ……。出来るだけ優しく、んっ、するけどな？
@@@@@@@吐息20秒@@@@@@@
よーしと、大体こんなもんか。
んっ、じっと我慢できて、偉かったな？ ふふつ。
ん、ふ……じゃあそろそろ、本格的に扱いていくぞ？

ほら……。

んっ、ふ……どうだ？ 速さとか、この位で大丈夫そうか？

あ……ん、よし。

じゃ、このまま続けていくから、んんっ、出したくなったら言えよな？

制服、汚れたら困るか……ら……ん、う……。

ハッ……！？

なっ、ま、またこれ……どうなって……！

ひつ……う、これ、なつ……！？

んんっ……て、てめえ！ さ、さっきから私に何してやがる！？

はあ！？ 私の方からって、んなわけねーだろうが！

何がお姉ちゃんだよ気色わりい！

今すぐやめねーとマジで殺すぞ！？

くっ……そ、身体……勝手に……。

んっ……く、とまれ……とまれよこのっ……んっ、く……。

んんっ！？ あつ……あ、あ……あ……。

んっ……あ、あれ？

また私……ボーッとしてたな？

すまん、折角ちんちん、しごいてやってるのに、もっと集中してやんねーとダメだよな。

ごめんごめん。

んっ……ほら、こうやって先っぽの方に指、引っ掛けるようにするのはどうだ？

んん……上下する度にぬるって亀頭の所、刺激されて気持ちいいだろ？

んっ……くくっ、なんだよー？ くすぐったいんか？

まあ、ちんちんの中でも特に敏感なとこだもんなー。

ん……ふ、でも、こういうの、ちゃんと我慢できるようにならんと、強い男になれねーぞ？

ほれほれ、もっと指、這わしてやる。

あつ、んっ……この、胸、んっ、吸うの強めて抵抗してもやめてやんねーぞ？

はははっ……んっ、んうつ。

ほら、あんまりビクビクさせてっと、んんっ、飛び散って周り、汚しちゃうだろ？

んっ……！

……んだよ、情けねーなあ。

まあでもしゃーないか。まだまだ刺激に慣れてないんかもしれんし。

んっ……あんまりやって痛めてもダメだろーし、んっ、そろそろ手加減してやるか。

ふつ……んふ、ほら、どうだ、この位なら？

こんなもんなら丁度いいくらいだろ？

んんっ……ふふ、それならいい。よく頑張ったな？

んっ……ふ。ま、こういうのは、徐々に慣らしていくしかないし、あんま気にすんなよ。

私の方も、あんまり甘やかしすぎるのも良くないと思って、ちょっと強くしすぎたかもだしな、悪かったよ。

んっ……ふ……ん、したらここからは優しく、気持ちよくしていってやるから。

んっ、ふつ……そうやってお姉ちゃんの手の感触に集中してろ？

ふふつ……ん、おう。おっぱいも、そのまま咥えていいからな？

んっ、満足するまで……んふ、付き合ってやるよ。へへっ。

@@@@@@@吐息30秒@@@@@@@

んー？ どした、うっとりした顔しやがってー。

もしかしてそろそろ、出そうなんか？

はは、隠してんじゃねーよ。

ちんちんさっきからビクビクしっぱなしだし、息も荒くなってきてるぞ？
んつ……ふ、ほら、別に恥ずかしがらなくていいから、んつ……ちゃんと言ってみな？
あつ……んんつ、ふふ、そうかそうか。
んじゃ、ちょっとスピード上げてやるから、このまま出しちゃいな？
ん、ふ……ほら、こんなもんはどうだ？
これ位なら気持ちよく……んつ、いけそうか？
んつ……おーおー、身体、強張らせちゃって。
ちゃんと気持ちいいみたいだな？
んんつ……あ、ふ。
じゃあちゃんといく時は言えよ？
お姉ちゃんがちゃんと手で、受け止めてやるからな？
ふふつ……んつ。
ああ？ 今更そんなこと気にすんなって。
手くらい、別に汚れても気にしねーよ。
別に精液くらい、汚ねーもんでもないしな。
だから……んつ、遠慮しないで中に溜まってるの、全部出しちまえよ？ な？
んつ……あ、ほら。
段々先っぽの方が張り詰めてきたぞ？
んつ……精液、上がってきたか？
いいぞ……それじゃあそろそろ……え、う……ん。

……くつ、あ……。
！？
て、てめえ。さっきから調子乗りやがって！
いい加減にしとけよ？ 今すぐこのよく分かんねーの、やめねーと後悔すんぞ！？
……うるせえ！
だからお姉ちゃんとか意味分かんねーんだよ！
こんなきったねえモン扱かせやがって。
くっそつ……マジこれ、どうなってやがる……！
うつ……くつ。
……なっ！？
はあ、イ、イきそうって……。
なっ！ 出すなよ、出したら殺す！
絶対殺す！
絶対殺すからな！
ああ！？ カウント……！？
ふざけんな！ 誰がんなことするか……うつ……。
ご、5……。
くそつ、どうなってんだよ……私の身体……！
4……。
うつ……くつ……。
3……。
てめえまじ、殺す！ 殺すから！
2……。
笑ってんなよ！？
よく分かんねー力で私のこと手玉に取ってるつもりか知らねーけど……つ。

くっ……いーち。

これ終わったらぜってー……こ、ろす……。

ぜーーろ……♪ いーっぱい出せよ♪

んんっ……。

おお、出たなー？

はは、やべ。

勢いすげーぞ？

あっははは、ん……いいっていいって。

お姉ちゃんのことは気にせずに、ぜーんぶ出し切っちゃいなー？

ちゃんと出し切るまで、こうしてゆっくり目に手、動かしててやるからさ？

んっ……ふふ。っと。

これで全部、出たか？

よしよし、いっぱい出せて、偉かったなー？

ほら見ろよ、お姉ちゃんの手、ドロッドロだぞ？

ホントに遠慮なしに出しやがってー。

ははっ。

ん……よーし。

そんじゃあ後片付けしていくか。

お姉ちゃんももうそろそろ授業、始まるから行かねーといけないからな。

ちやつちやと綺麗にして……ん……って、あれ？ 授業……。

ん……そういえば私、なんで学校でこんなことして……。

……いつつ！

う……つかこいつ……誰……だっけ……。

私……確かこいつに……。

ん……あ、ああ？

解除して、遊びすぎたって……あん？

何いってんだ急に？

悪いけどお姉ちゃんそういうのよく……。

お姉ちゃん？ 私？ あれ……何かが……。

……うう！？ う……あ……あ、あ……。

……いつ……つうう……。

くっ、頭いてえ……。

んだよさっきから……。

……ああ？ なんだお前、まだ居たのかよ。

まだなんか用事あるんか？

無いならさっさと自分の席戻れよ、うつとうしい。

ん……と、ああ。ちょい待ち。

ほらお前、髪の毛、後ろのとこ癖になってるじゃんか。

何だよ、どっかで寝転がってたんか？

ん、ほらむこう向け？

あんま手間かけさせんなよなー……。

……？

あれ、なんで私、お前にこんな世話を焼いてんだっけ……。

ん……？ まあいいわ。

ほら、髪、整えてやったからもうさっさと席戻れよ。
もうすぐ授業始まんぞ？
つたく……。
……？ 何なんだこの感じ……。